



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場会社名 三共生興株式会社

上場取引所 東

コード番号 8018 URL <http://www.sankyoseiko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川崎 賢祥

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室ゼネラルマネージャー (氏名) 下川 浩一

TEL 06-6268-5188

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	19,141	4.2	1,028	△17.3	1,233	△2.6	892	17.7
25年3月期第2四半期	18,365	3.0	1,244	23.7	1,266	14.6	758	17.8

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2,637百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △377百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	19.72	—
25年3月期第2四半期	16.76	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	53,381	27,444	50.8
25年3月期	50,472	25,377	49.7

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 27,127百万円 25年3月期 25,063百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	12.50	12.50
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	12.50	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,800	8.0	2,900	62.9	3,100	58.8	2,200	162.7	48.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) SANKYO SEIKO(ASIA PACIFIC)CO., L TD.、除外 1社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	60,000,000 株	25年3月期	60,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	14,736,887 株	25年3月期	14,736,887 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	45,263,113 株	25年3月期2Q	45,263,252 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(ご参考)

平成 26 年 3 月期の個別業績予想 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	9,200 △11.8	400 △76.4	1,000 △54.4	800 △49.9	17 67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）におけるわが国経済は、日銀の金融緩和政策や政府の各種経済政策等のいわゆるアベノミクス効果に対する期待感から、円安の進行、株価の上昇、企業収益改善等、国内経済と社会の先行きには明るい兆しが見られました。

当社グループを取り巻く繊維・アパレル業界におきましては、個人消費において一部で回復傾向がみられるものの、個人所得は伸び悩み、消費税増税による物価上昇懸念などにより先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、消費者ニーズを的確に捉え商品力・生産性を上げるとともに、将来に向けての事業構造改革を強力に推し進めております。また、この過程で一部事業の撤退に伴う影響もありました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は前年同期比4.2%増の19,141百万円、営業利益は前年同期比17.3%減の1,028百万円、経常利益は前年同期比2.6%減の1,233百万円、四半期純利益は前年同期比17.7%増の892百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ① ファッション関連事業

ファッションブランド商品の国内販売におきましては、今期より主力販売先である百貨店向けの取引条件を消化取引に変更し、販売効率のアップや生産削減を含めた消化率の向上に努めたこともあり順調に推移しております。

また香港、中国などの海外市場でも為替が円安に振れたこともあり増収、増益となっております。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比9.9%増の8,988百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比59.4%増の1,039百万円となりました。

## ② 繊維関連事業

アパレル向けOEM事業におきましては、高温、長雨等不順な天候の影響もありましたが、販売先アパレルへの企画提案や供給体制の強化に努めた結果、売上は伸ばすことが出来ました。しかしながら、原材料の高騰や、円安に振れた為替の影響などコストアップ要因もありましたので、利益率が低下、減益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比8.0%増の6,082百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比18.7%減の151百万円となりました。

## ③ 生活関連事業

タオル、寝装、寝具などの販売におきましては、夏物商戦で苦戦、価格競争も厳しく、構造改革の一環で主力事業の一つであるタオルの直販事業から撤退を進めておりますが、これに伴う費用の増加や在庫の減損等も発生いたしましたので収益面では大きく影響を受けました。

また、パジャマ等の中国生産のOEM事業につきましても原材料、為替等の影響もあり苦戦いたしました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比13.9%減の3,556百万円、セグメント損失(営業損失)は224百万円(前年同期は234百万円のセグメント利益)となりました。

## ④ 不動産賃貸事業

大阪の賃貸ビルをメインとして東京・横浜・神戸等の不動産に係る賃貸事業において、当第2四半期連結累計期間における売上高は前年同期比12.3%減の927百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比28.6%減の273百万円となりました。

## ⑤ その他

物流倉庫事業、ビルメンテナンス事業、内装工事業等において、当第2四半期連結累計期間における売上高は前年同期比12.0%増の793百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比124.9%増の37百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,250百万円(7.1%)増加し、18,840百万円となりました。これは現金及び預金が755百万円増加、商品及び製品が500百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,658百万円(5.0%)増加し、34,540百万円となりました。これは投資有価証券が1,456百万円増加したことが主なものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて2,908百万円(5.8%)増加し、53,381百万円となりました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて630百万円(3.4%)増加し、19,320百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が420百万円増加、短期借入金が373百万円増加した一方で、未払費用が343百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて211百万円(3.3%)増加し、6,616百万円となりました。これは繰延税金負債が611百万円増加した一方で、長期借入金が213百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて841百万円(3.4%)増加し、25,936百万円となりました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,066百万円(8.1%)増加し、27,444百万円となりました。これはその他有価証券評価差額金が1,080百万円増加、純資産から控除している為替換算調整勘定が662百万円減少したことなどによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて263百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には、5,256百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上額が1,365百万円、仕入債務の増加額が420百万円となった一方で、たな卸資産の増加額の493百万円、売上債権の増加額の436百万円などもありましたので、397百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入が424百万円となった一方で、有形固定資産の取得による支出が121百万円であったことなどにより、276百万円の収入となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額が563百万円、長期借入金の返済による支出が229百万円となった一方で、短期借入金の純増加額が377百万円であったことなどにより、458百万円の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績につきましては、平成25年5月15日の決算発表時に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、新たに設立したSANKYO SEIKO(ASIA PACIFIC)CO., LTD.を連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,654	5,409
受取手形及び売掛金	7,018	7,501
商品及び製品	4,761	5,261
仕掛品	46	22
原材料及び貯蔵品	118	142
その他	1,013	523
貸倒引当金	△22	△21
流動資産合計	17,589	18,840
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,349	9,182
土地	3,861	3,855
その他(純額)	622	612
有形固定資産合計	13,834	13,650
無形固定資産		
商標権	4,151	4,584
その他	261	252
無形固定資産合計	4,412	4,837
投資その他の資産		
投資有価証券	13,793	15,250
その他	1,502	1,447
貸倒引当金	△660	△645
投資その他の資産合計	14,635	16,053
固定資産合計	32,882	34,540
資産合計	50,472	53,381



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,986	5,407
短期借入金	11,208	11,582
1年内返済予定の長期借入金	451	435
未払費用	1,284	941
未払法人税等	224	343
その他	533	610
流動負債合計	18,689	19,320
固定負債		
長期借入金	613	400
長期未払金	144	108
繰延税金負債	4,015	4,627
退職給付引当金	631	567
長期預り金	681	624
その他	318	288
固定負債合計	6,405	6,616
負債合計	25,094	25,936
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
資本剰余金	6,165	6,165
利益剰余金	18,648	18,975
自己株式	△5,235	△5,235
株主資本合計	22,579	22,906
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,340	6,421
繰延ヘッジ損益	△2	△7
為替換算調整勘定	△2,855	△2,192
その他の包括利益累計額合計	2,483	4,221
少数株主持分	314	316
純資産合計	25,377	27,444
負債純資産合計	50,472	53,381

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	18,365	19,141
売上原価	11,008	11,869
売上総利益	7,357	7,272
販売費及び一般管理費	6,112	6,243
営業利益	1,244	1,028
営業外収益		
受取利息	2	4
受取配当金	150	174
貸倒引当金戻入額	0	18
為替差益	—	3
その他	30	93
営業外収益合計	183	295
営業外費用		
支払利息	54	50
事務所移転費用	—	16
為替差損	36	—
その他	70	22
営業外費用合計	161	89
経常利益	1,266	1,233
特別利益		
投資有価証券売却益	—	198
特別利益合計	—	198
特別損失		
投資有価証券評価損	95	0
減損損失	—	16
特別退職金	—	36
店舗閉鎖損失	—	14
特別損失合計	95	66
税金等調整前四半期純利益	1,170	1,365
法人税、住民税及び事業税	303	446
法人税等調整額	101	19
法人税等合計	405	465
少数株主損益調整前四半期純利益	765	899
少数株主利益	7	7
四半期純利益	758	892

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	765	899
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,026	1,080
繰延ヘッジ損益	△7	△4
為替換算調整勘定	△108	662
その他の包括利益合計	△1,142	1,737
四半期包括利益	△377	2,637
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△384	2,630
少数株主に係る四半期包括利益	7	7

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,170	1,365
減価償却費	365	414
減損損失	—	16
店舗閉鎖損失	—	14
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△18
受取利息及び受取配当金	△152	△179
支払利息	54	50
売上債権の増減額 (△は増加)	△719	△436
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△766	△493
仕入債務の増減額 (△は減少)	777	420
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△198
投資有価証券評価損益 (△は益)	95	0
役員退職慰労金の支払額	△411	△36
役員賞与の支払額	△82	△60
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	15	△63
その他	△157	△202
小計	190	594
利息及び配当金の受取額	153	179
利息の支払額	△51	△48
法人税等の支払額	△655	△328
営業活動によるキャッシュ・フロー	△363	397
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△125	△21
有形固定資産の取得による支出	△212	△121
有形固定資産の売却による収入	1	7
投資有価証券の取得による支出	△11	△11
投資有価証券の売却による収入	—	424
その他	△8	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△356	276
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	455	377
長期借入金の返済による支出	△254	△229
配当金の支払額	△566	△563
少数株主への配当金の支払額	△6	△4
その他	△21	△37
財務活動によるキャッシュ・フロー	△393	△458
現金及び現金同等物に係る換算差額	△29	48
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,142	263
現金及び現金同等物の期首残高	5,401	4,992
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,258	5,256

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## ① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ファッション 関連事業	織 維 関連事業	生 活 関連事業	不 動 産 賃貸事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	8,040	5,195	4,120	782	18,139	226	18,365	—	18,365
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	139	433	10	275	859	481	1,341	△1,341	—
計	8,180	5,629	4,131	1,057	18,999	708	19,707	△1,341	18,365
セグメント利益	652	186	234	383	1,457	16	1,473	△229	1,244

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流倉庫事業、ビルメンテナンス事業及び内装工事事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△229百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△218百万円及びセグメント間取引消去等△11百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## ② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## ① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ファッション 関連事業	織 維 関連事業	生 活 関連事業	不 動 産 賃貸事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	8,875	5,703	3,543	692	18,814	327	19,141	—	19,141
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	113	379	13	235	741	466	1,207	△1,207	—
計	8,988	6,082	3,556	927	19,555	793	20,349	△1,207	19,141
セグメント利益又 は損失(△)	1,039	151	△224	273	1,240	37	1,278	△249	1,028

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流倉庫事業、ビルメンテナンス事業及び内装工事等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△249百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△542百万円及びセグメント間取引消去等293百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## ② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	全社・消去 (注)	合計
	ファッション 関連事業	織 維 関連事業	生 活 関連事業	不 動 産 賃貸事業	計			
減損損失	—	—	8	—	8	—	8	16

(注)「全社・消去」の金額は、遊休資産等に係るものであります。

## (重要な後発事象)

平成25年7月24日付で締結した吸収分割契約書に基づき、平成25年10月1日付で当社連結子会社である三共生興ファッションサービス株式会社は、当社が営む直営ブティックでの小売事業を承継しました。

## 1. 会社分割の目的

日本市場におけるファッションブランド製品の卸・小売事業の統合により、直営店の運営を通じて蓄積したノウハウを共有し、相乗効果による販売効率の向上、営業力の強化を目的としております。

## 2. 取引の概要

## (1) 対象となった事業の内容

直営ブティックでの小売事業

## (2) 会社分割の時期

平成25年10月1日

## (3) 会社分割の法的形式

当社を分割会社、三共生興ファッションサービス株式会社を承継会社とする吸収分割

(注) 本会社分割は、当社においては会社法第784条第3項に規定する簡易分割であること、三共生興ファッションサービス株式会社においては会社法第796条第1項に規定する略式分割であることから、それぞれ分割承認株主総会を開催せずに行っております。

## (4) 吸収分割後の企業の名称

三共生興ファッションサービス株式会社(当社100%出資の連結子会社)

## (5) 分割する事業の経営成績(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

売上高 248百万円

## (6) 分割する資産、負債の金額(平成25年9月30日現在)

資産 224百万円、負債 194百万円

## (7) 当該吸収分割の後の吸収分割承継会社となる会社の商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額及び事業の内容

商号	三共生興ファッションサービス株式会社
本店の所在地	大阪府中央区備後町二丁目6番8号
代表者の氏名	取締役社長 山田 康二
資本金の額	360百万円
事業の内容	ファッション製品の企画、生産及び販売

## 3. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引として処理いたします。